

2021年8月25日

中高保護者の皆様

小林聖心女子学院中・高等学校

校長 棚瀬 佐知子

## 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策に関して（第二十八報 中高版）

記録的な大雨の後、また暑さが戻ってまいりました。新型コロナ感染拡大に歯止めがかからない状況において、何かと不安な夏をお過ごしになったことと思います。児童生徒にとっては思う存分活動できない夏休みであったかもしれませんが、できる形で新しいことにチャレンジして過ごせたのであれば幸いです。

さて、皆様ご承知の通り、8月20日(金)、兵庫県に緊急事態宣言が発令され、13の都府県で9月12日(日)まで適用されることになっております。変異ウイルスの影響を強く受ける第五波の出口は未だ見えず、小中高生を含む若い世代における感染急拡大が報道される中、学校は、8月30日(月)に始業の日を迎えようとしております。これまでとは異なる感染拡大状況を鑑み、慎重に検討を重ねて参りました結果、以下のように対応いたしますので、お知らせいたします。今回は、小学生に必要なことや学びの特性等教育的視点を考慮に入れた上、小学校と中学・高等学校で異なる対応を取ることいたしました。どうぞご理解いただきますよう、お願い申し上げます。

- <小学校> 8月30日より学校での授業を行う。(登校 8時45分まで・最終下校 15時30分)  
\*登校に不安を伴う児童は家庭で過ごし、ロイロノートを用いて学習の連絡や課題等を受ける。(欠席扱いとはなりません)
- <中高> 8月30日(月)・31日(火)は学年ごとの分散登校とする。  
9月1日(水)から期末考査前日まで自宅でのオンライン授業を基本とするが、事情がある場合は学校に登校してオンライン授業を受けることもできる。

家庭における感染が増加していることも、今回の特徴として指摘されております。各ご家庭におかれましては、今一度、感染予防に留意するとともに、児童生徒の健康管理をくれぐれもよろしくお願いいたします。中高では、ミマモルメ健康調査を引き続き実施いたしますので、よろしくお願いいたします。

今年度は、できる限り教育活動の幅を狭めないということで取り組んで参りましたが、状況の急激な悪化に伴い、変更を余儀なくされましたことは残念でなりません。あくまでも、健全な学校生活を維持するための対応であることをご理解いただけましたら、幸いです。小学校も中高も、校内におきましては、一層気を引き締めて感染予防に努めて参りますことを、付け加えさせていただきます。

尚、詳細につきましては、別途27日(金)までに配信いたしますので、必ずご確認ください。